

熟塾 シャベリ場サロン

義足のダンスパフォーマンスと 「明日へひょうひょう」母と娘の対談会

母：森田登代子さん VS 娘：森田かずよさん

聞き手：熟塾 代表 原田彰子

日時：2017年12月12日(火)・午後7時～8時半

会場：上本町Nextageビル 5階

大阪市天王寺区小橋町2-12 06-6765-2111
地下鉄千日前線「鶴橋」駅 番号出口から徒歩約2分
JR環状線「鶴橋駅」近鉄/「鶴橋」から徒歩約5分

会費：一般1500円・学生500円

先着申込み50名様

3年後の東京パラリンピックを前に、まずは義足のダンサー森田かずよさんのパフォーマンスを鑑賞。

「健常の母親のわたしが娘の障害や娘の悲しみを100%理解できることなどありません。少なくともわたしにはできません。」という重複障害者の娘と共にひょうひょうと生きる母登代子さんと娘かずよさんが、40年間の思い出の写真を眺めながら対談。

語り合う母と娘の生き様を通して見えてくるものは何か？

参加者もそれぞれに感じて、どんどん質問し、ひょうひょうと一緒にしゃべりましょう！



森田登代子さん：NPO 法人ピースポット・ワンフォー副理事長、なにわ創生塾主宰 専門は近世庶民生活史。熟塾塾生。子供が重度障害者だったので同居となり、四世代家族の長男の嫁となった。現在は94歳の舅のみ。著書に「近世商家の儀礼と贈答」(岩田書院)「明日へひょうひょう」(向陽書房)「はじめてダンス」(小学館)「遊楽としての天皇即位式」(ミネルヴァ書房)ほかに、子供の手がかからなくなってからインドの山奥に行くようになり、チベット関係の論文多数。

森田かずよさん：「二分脊椎症・側湾症」を持って生まれ、18歳より芝居を始める。表現の可能性を日々楽しく考えながら、義足の女優・ダンサーとして活動。「Performance For All People. CONVEY」主宰。NPO法人ピースポット・ワンフォー理事長。最近是人形作家とのコラボレーションなど、様々なジャンルの方と共に、障害を超えた身体のあり方を模索している。第11回北九州&アジア全国洋舞コンクールバリアフリー部門 チャレンジャー賞(1位)受賞。



講座終了後、近くのお薦めのイタリアンレストランにおいて森田登代子さんとかずよさんを囲んでの懇親会(2500円飲物別)を開催します。希望者は備考欄に懇親会参加希望と表示ねがいます。

義足のダンスパフォーマンスと「明日へひょうひょう」母と娘の対談会 参加申込書

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6946-2815

お名前			
ご住所	〒		
TEL NO		E-mail	
備考欄	懇親会に、参加します OR 参加しません		

電話：090 - 8381 - 0150 (不在の場合は、留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います)
熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。
お申し込みいただくと、会場の場所等を明記した参加証を郵送いたしますので会費は当日ご精算ください。